

仙人通信 211 幕山(625m)・南郷山(611m)

幕山は湯河原の北に位置し、4000本を超える梅林を南面に更に梅林の上に柱状節理の岩壁を抱えた山で、南郷山はその東側に位置し、鎌倉開運街道そして三等三角点の山である。

梅園の駐車場に車を置き、梅林を散策して幕山の山頂に進み、自鑑水をへて南郷山に登った後、幕山を取り巻く様にある白銀林道から大石ガ平を経て、梅林公園へ戻るコースとした。幕山公園の管理事務所の横にある階段に幕山ハイキングコースを示す道標があり、ここからのスタートである。

梅の花が一分咲き程度と花でにぎわう前でもあり、訪れる客も数人であった。

梅の木の根元には、種類を明記した板が取り付けられており、種類の多さに驚いた。

柱状節理の岩を眺めながら15分程で梅林の最上部に到着し、ここからが登山コースである。

コースは、落葉樹林の中に丸太の階段で整備され歩き易い。15分程で四阿風の休憩所だ。

梢越しであるが、太陽光が海面で反射し真鶴半島の横に大島と初島が浮かび上がり綺麗だ。

花の少ない時期であるが、足元ではシダやアオキ・茶の木・マテバシイ・樫等が緑を添える。

九十九折のコースからは、大島等の綺麗な海の景色も最高だ。40分程で幕山の山頂である。

山頂の周囲は、桜・檜等の落葉樹が囲み視界はいま一つである。檜林を東に15分程下ると

大石ガ平の分岐そして林道を挟んだ先に自鑑水の道標である。檜林の中を200m程で

自鑑水(湧き水の池)だ。説明書に拠れば1180年の石橋山の戦いに敗れた頼朝主従が、自害を

覚悟でこの池にたどり着き、水面に写る己の姿をみて一心転機したとされる。

ここからは鎌倉幕府開運の道とある。檜・杉の林を20分程登ると尾根となり、2m以上も

ある箱根笹がトンネル状に覆うコースを500m程進むと南郷山である。

山頂は木々で覆われているも相模灘の先に湘南平から真鶴半島までが望める。

休憩後、先程登って来た道を300m程戻ると白銀林道へ下るコースだ。60°近い勾配の上に

切られた箱根笹の茎が散乱しており、それらを避けながら200m(約10分)程下りアスファ

ルトの林道に出ることが出来た。更に先ほどの自鑑水入口まで12分で到着だ。

ここから、大石ガ平へのコースもあるが、林道を進む事にした。緩やかな道はやがて砂利の

コースとなる。天照山から南に伸びる尾根や幕山等を眺めながら35分程で、大石ガ平を示

す道標である。沢沿いの箱根笹のコースを1.5km(13分)で、新崎川沿いの林道となる。

更に8分程で幕山からの下山コースと合流し、使用されなくなった狭い橋のある大石ガ平

である。クスノキ純林入口・山の神・桜公園・夫婦の梅の里分岐・椿林を過ぎ、30分程で

梅が咲き始めた梅林公園に到着だ。小鳥の鳴き声を聞きながら、のんびりとした4時間半

(21000歩)の山旅とすることができました。

(R3.1.19)

柱状節理の幕山



幕山山頂



自鑑水



南郷山山頂

